

第2学年 外国語科学習指導案

1 単元名 Unit5 Universal Design (New Horizon English Course2 東京書籍)

2 単元について

○教材観

本単元では、ユニバーサルデザインについて取りあげられている。登場人物のメグが緑市で開催されるユニバーサルデザインについてのイベントの通知を見ている場面から始まり、メグがイベントに参加した際に展示会場のスタッフと会話をして学んだ事や体験したことをまとめ、クラスで発表する展開になっている。メグのユニバーサルデザインについてのスピーチを聞いたジョシュが興味をもち、ユニバーサルデザインの創始者であるロナルド・メイスについての本を図書館で借り、読んでいる場面である。この単元を通して、私たちの日常生活にあるユニバーサルデザインについての理解を深めるとともに、あらゆる人の立場に立ち、誰にでも優しい、誰にとっても暮らしやすい社会について考える機会にしたい。また、身近に浸透しているユニバーサルデザインに目を向け、日常生活で困難や不安を抱えている人々に対して、安心させるためのアドバイスを送るという言語活動を単元の中に仕組んでいく。

言語材料としては、疑問詞+to+動詞の原形、主語+動詞+目的語(人)+疑問詞+to+動詞の原形、主語+be 動詞+形容詞+that 節は扱われており、具体的な使用場面を設定した言語活動を通して習得していくことが目標である。

単元終末のパフォーマンス課題では、甲府市の姉妹都市であるアメリカデモイン市からの依頼に応え、甲府市への交流を考えている中高生に向け、甲府市で安心して楽しい時間を過ごすことができるように、甲府市の紹介動画を作成する。単元の最初に、デモイン市からこの夏来日した ALT からビデオメッセージを見せることで、単元を通してパフォーマンス課題に向かって学習していく意識付けを行っていききたい。また、今回のパフォーマンス課題で録画した動画は実際にデモイン市の生徒たちに見てもらうことで、相手意識や目的意識を明確にもって活動に取り組ませたい。

○生徒観

本学級の生徒は、外国語学習に対して非常に前向きであり、特に「話すこと」については積極的に英語を使用する姿が見受けられる。昨年度から、授業では必ず目的・場面・状況を示し、生徒たちは毎時間の目標を達成するために、思考を巡らせるようになってきている。授業中やパフォーマンステスト直前の休み時間などに、「先生、今回の文の書き出し方は～～の方がいいですね。」や、「もう ALT のことは知っているし、今回のこの場面で”How are you?”って、わざわざ聞かなくていいよね。」のような質問や生徒同士の会話が増えてきた。このような生徒の発言からも、生徒が目的・場面・状況を考え、言語活動の目的(本時の目標)を達成しようとする意識が高まったことを感じる。

2学期から新しい ALT になり、生徒たちは自己紹介を行ったが、休み時間に積極的に話に行っている様子があり、すぐに打ち解けていた。日々の授業では、ALT からたくさん質問をしてもらい、生徒は熱心に話を聞き、返答している。質問の意味が分からなかったり、よく聞き取れない時は、“One more time, please.”と聞き返し、熱心に耳を傾けている。

また、生徒たちは自分の考えや気持ちなどを伝える習慣ができてきている。しかし、使える表現の幅が狭く、毎回同じ表現になってしまうことが課題として挙げられる。小学校で学んだ知識や表現を基礎として、その上に中学校で学んだことを積み重ね、表現の幅を広げていくことができるように指導していきたい。具体的には、自分の考えや気持ちを述べるだけでなく、その理由や根拠を付け加えることを習慣付けていき、相手に対して自分の考えや気持ちを具体的に伝える力を育成していきたい。

英語が得意な生徒も不得意な生徒も授業を通して「自分は英語を使って、これならできる」という達成感や自信を高め、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする主体的な態度を育てていきたい。

○指導観

本単元の指導にあたって、毎時間の授業において、教師（ALT 含む）と生徒、生徒と生徒とのやり取りを軸にして授業を構成していく。単元で扱われている話題についてのやり取りはもちろんだが、スモールトーク（おしゃべり・雑談）での生徒たちと教師・ALTとのやり取りを充実させることで、生徒が自分の考えや気持ちを伝える力を育てていく。昨年度の段階では、相手に考えや気持ちを伝えることに焦点を当てて指導してきたが、今年度は”CAN DO リスト”にも記されているように、「考えたことや感じたことを、その理由とともに伝える」という発展させた指導を心がけていき、生徒の表現する内容の充実を図っていきたい。

教科書本文については、イベントのお知らせ、会話文、発表、本の内容とそれぞれ異なる場面になっている。お知らせについては相手に伝えるべき情報をしっかりつかむこと、会話文と発表については使われている表現に着目し、やり取りを中心として理解を深めるリーディング活動も取り入れながら、生徒が自分の言語活動で活用できるように指導していく。単元内で行う言語活動については目的・場面・状況設定を行い、設定された場面や状況にふさわしい内容で、目的を達成できるように、中間指導における言語面・内容面の指導を充実させていく。単元内の言語活動で積み重ねてきた表現や情報などが単元終末のパフォーマンス課題で表現できるように指導を行う。

3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第2学年）

	話すこと〔発表〕
2年生	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、自分で作成したメモなどを活用しながら、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

4 単元の目標

甲府市への交流を考えているデモイン市の人々が甲府市で安心して楽しく過ごすことができるように、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて紹介することができる。

5 言語材料

○表現

疑問詞+to+動詞の原形、主語+動詞+目的語（人）+疑問詞+to+動詞の原形、

主語+be 動詞+形容詞+that 節

I know how to use these products. / I can show you how to use these products.

I am sure that these ideas help many people.

○語彙

universal design / product(s) / exhibition / first - hand / facility / facilities / staff / jar / bump(s)
braille / helpful / feature(s) / over here / plastic / hold / common / glad / handrail / finger(s) / ramp / stair(s) / pull(ing) / luggage / baby / babies / American / professor / childhood / better / society / disabled / remove / barrier(s) / found(ed) / center / spread / Ronald Mace / (1970)s

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	・疑問詞＋不定詞の特徴やきまり、文構造を理解している。 ・甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて、整理した内容をもとに、疑問詞＋不定詞などを用いて伝える技能を身に付けている。	甲府市への交流を考えているデモイン市の人々が、甲府市で安心して楽しく過ごすために、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて、整理した内容をもとに、まとまりのある紹介をしている。	甲府市への交流を考えているデモイン市の人々が、甲府市で安心して楽しく過ごすために、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて、整理した内容をもとに、まとまりのある紹介をしようとしている。

便宜上、以下のように示す。

ア：「話すこと（発表）」知識・技能 イ：「話すこと（発表）」思考・判断・表現

ウ：「話すこと（発表）」主体的に学習に取り組む態度

7. 単元の指導と評価の計画（全9時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	◆単元の目標を理解する。 ◆緑市で行われるイベントについてのチラシを読み、チラシの内容を友達に伝える。 ○自己目標を設定する。 ○教科書本文(Scene1)の概要を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書などを参考にしながら、友達に緑市のイベントについての情報を伝え合う。 ※クラスの中で出たユニバーサルデザインのアイデアを毎時間記録する。				★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>

2	◆教科書本文 (Scene1)の緑市のイベントのお知らせを通して、疑問詞+不定詞の表現等に気付き、活用することができる。 ◆外国からきた留学生が緑市のイベントに参加し、日本のユニバーサルデザインについて学ぶことができるように、イベントについての細かい情報などを伝える。 ○教科書本文(Scene1)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書本文(Scene1)で使われている新出語句の意味や疑問詞+不定詞の形式・意味・機能を理解する。 ○ペアの相手を留学生だと想定し、イベントについての細かい情報などを伝える。 ※クラスの中で出たユニバーサルデザインのアイデアを毎時間記録する。			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>
3	◆教科書本文(Scene2)を通して、主語+動詞+(人)+疑問詞+不定詞の表現等に気付き、活用することができる。 ◆留学生が日本のユニバーサルデザインについて知ることができるように、身近にあるユニバーサルデザインを紹介する。 ○教科書本文(Scene2)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書本文(Scene2)で使われている新出語句の意味や主語+動詞+(人)+疑問詞+不定詞の形式・意味・機能を理解する。 ○教科書本文 (Scene2) の表現を参考にしながら、身近にあるユニバーサルデザインについて説明する。 ※クラスの中で出たユニバーサルデザインのアイデアを毎時間記録する。			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>
4 本 時	◆教科書本文(Scene2)を参考に、具体的なアドバイスを送ることができる。 ◆山梨大学に來ている留学生のマリベルさんに、甲府がなぜこんなに住みやすく過ごしやすいのかが伝わるように、私たちの身近や生活にあるアイデアについての紹介をすることができる。 ○マリベルさんから送られてきた動画を見て、相手の状況を理解し、メモを頼りにアドバイスを送るための動画を録画する。(動画提出) ○中間指導・評価を通して、本時の目標に迫るスピーチに練り上げる。(内容面・言語面)			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>

	○教科書等の表現内容を参考にする。 ○動画を見返し、目標に準拠した振り返りを行う。 ○自分のスピーチをクロームブックで録画する。(提出)				
5	◆メグの発表(Read and Think①)を通して、主語+be 動詞+形容詞+that の表現等に気付き、活用することができる。 ◆メグの発表を聞き、前時で録画したマリベルさんへの動画をさらにわかりやすくするための表現などを見つけ、自分の発表に活用することができる。 ◆メグの発表を参考に、マリベルさんに送る動画をさらに分かりやすくするために、自分のスピーチを再考する。① ○教科書本文(Read and Think①)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書本文(Read and Think①)で使われている新出語句の意味や主語+be 動詞+形容詞+that の形式・意味・機能を理解する。 ○前回友達が録画した動画やメグの発表などを参考に、マリベルさんへ向けての動画を再度録画する。				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>
6	◆メグの発表 (Read and Think①) を参考に、マリベルさんに送る動画をさらに分かりやすくするために、自分のスピーチを再考する。② ◆ここまで録画した動画を見返し、内容や文法事項の適切さを確認する。 ○教科書本文(Read and Think①)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書本文(Read and Think①)で使われている新出語句の意味や主語+be 動詞+形容詞+that の形式・意味・機能を理解する。 ○教科書本文 (Read and Think①) をまとめて聞いたり読んだりして、使われている新出語句の意味や文法の復習を行う。 ○動画を提出する。	○			◎単元の評価規準 ア <記録動画・行動観察・振り返りシート記述分析>
7	◆ユニバーサルデザインについて深く理解し自分の考えをもつために、ユニバーサルデザインについて書かれた文章を読み、考えたことなどを友達と伝え合う。 ◆これまでに学習してきたことを活用しながら取り組む。 ○教科書本文(Read and Think②)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>

	○ユニバーサルデザインについて書かれた文章を読み、自分の考えをもち、友達に共有する。				
8	◆甲府市への交流を考えているデモイン市の生徒たちが甲府市で安心して楽しい時間を過ごすことができるように、甲府市の紹介動画を作成する。 (単元終末パフォーマンス課題) ○メモを頼りにパフォーマンス課題に取り組む。(録画) ○班の友達のパフォーマンス課題の動画を見て、良かった表現やアドバイスなどをスプレッドシートに打ち込み、クラス全体で共有する。		○	○	◎単元の評価規準 イ・ウ 〈記録動画・行動観察・振り返りシート記述分析〉
9	◆録画した動画を視聴し、自分が話したことを打ち込み、正確さを確認することで、より相手に伝わるまとまりのある文を書くことができる。 ○自分の発表内容をスプレッドシートに打ち込み、英語使用の正確さを確認する。 ○打ち込んだ文章をクラスで共有し、友達と確認し合い、相互にコメントし合う。	○			◎単元の評価規準 ア 〈記録動画・行動観察・振り返りシート記述分析〉

各時間における言語活動の設定について

時間		目的場面状況の設定
1	Scene I [Reading/Speaking]	【場面状況】 あなたは緑市で行われるイベントのチラシをメグと一緒に見えています。 【目的・行動】 イベントの内容を理解するために、チラシを読み、分かったことを友達に伝えよう。
2	Scene I [Speaking]	【場面状況】 あなたの学校に外国から留学生の〇〇さんがきました。〇〇さんは自己紹介でユニバーサルデザインについて学んでいて、日本のユニバーサルデザインにとっても興味があると言っていました。 【目的・行動】

		外国から来た〇〇さんが、緑市のイベントに参加し、日本のユニバーサルデザインについて学ぶことができるように、イベントについての情報などを伝えよう。
3	Scene2 [Reading/Speaking]	【場面状況】 緑市のイベントについて留学生の〇〇に紹介した後、〇〇さんが日本のユニバーサルデザインについて教えて欲しいと言いました。〇〇さんは実際に身近で使われているものは、どんなものがあるのか知りたいそうです。 【目的・行動】 〇〇さんが日本のユニバーサルデザインについて知ることができるように、あなたの身近にあるユニバーサルデザインを紹介しましょう。
4	Scene2 [Listening/Speaking]	【場面状況】 山梨大学にフィリピンから留学生として来ているマリベルさんからのビデオメッセージが届きました。なぜ甲府市はこんなにも過ごしやすい国なのか、ということに興味をもちました。マリベルさんから、「生活を便利に過ごしやすくしているものは何?どんなものがあるのか教えて欲しい。」とたずねられました。 【目的・行動】 マリベルさんからの質問に答え、甲府市がなぜこんなに住みやすく過ごしやすいのかが伝わるように、私たちの身近や生活の中にあるアイデアについて紹介をしましょう。
5	Read and Think 1 [Listening/Reading]	【場面状況】 メグが英語の授業でユニバーサルデザインについて調べたことを発表しています。 【目的・行動】 マリベルさんに送る動画の内容を、さらに分かりやすくするために、メグのスピーチを参考にして、自分のスピーチを再考する。①
6	Read and Think 1 [Reading/Speaking]	【場面状況】 メグが英語の授業でユニバーサルデザインについて調べたことを発表しています。 【目的・行動】 マリベルさんに送る動画の内容を、さらに分かりやすくするために、メグのスピーチを参考にして、自分のスピーチを再考する。②
7	Read and Think 2 [Reading/Speaking]	【場面状況】 ここまでの授業ではユニバーサルデザインについて考え、伝えてきました。今、ユニバーサルデザインという考え方は大切であると言われていますが、あなたはごどう思いますか。

		【目的・行動】 ユニバーサルデザインについて理解し、自分の考えをもつために、ユニバーサルデザインについて書かれた文章を読み、友達と意見交換する。
8	パフォーマンス課題	
9	パフォーマンス課題のふり返し	

(※) パフォーマンス課題について

◎ パフォーマンス課題の内容

アメリカのデモイン市は甲府市の姉妹都市です。デモイン市出身の ALT のジェイク先生から、甲府市への交流を考えているデモイン市の生徒たちが、甲府市で安心して楽しい時間を過ごすことができるように、みなさんへ甲府市の紹介動画作成の依頼がきました。ジェイク先生からの動画作成依頼のビデオメッセージを見て、甲府市への交流で来日を考えている人たちが、安心して楽しく過ごすことができるように、甲府市の紹介動画を作成しましょう。

ジェイク先生からのビデオメッセージの概要

- 甲府市とアメリカのデモイン市は姉妹都市で、来年の7月にデモイン市にいる私の生徒が甲府を訪れる予定で彼らはワクワクしているが、たくさんの質問がある。
- 彼らは情報を欲しがっていて、例えば、ディエゴはどのように日本を訪れたらよいか不安を感じている。エマは「甲府市は住んだり訪れたりするのに、いい所ですか。」と聞いてきた。
- Unit5 を通してユニバーサルデザインの視点を学ぶ皆さんに「デモイン市の生徒たちが甲府市を訪れるにあたって、知っておくべきことは何か」を考えてほしい。
- みんなにはどのように甲府を楽しむことができるのかを伝えるためのスライドと動画を作って欲しい。

◎パフォーマンス課題におけるルーブリック(評価基準)【話すこと[発表]】

このパフォーマンス課題で見取るものは、【思考・判断・表現】【主体的】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	甲府市との交流を考えているデモイン市の生徒たちが、甲府市で安心して楽しく過ごすことができるように、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて、自分の考えや気持ちをその理由とともに紹介している。	甲府市との交流を考えているデモイン市の生徒たちが、甲府市で安心して楽しく過ごすことができるように、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて、自分の考えや気持ちをその理由とともに紹介しようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	甲府市との交流を考えているデモイン市の生徒たちが、甲府市で安心して楽しく過ごすために、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて伝えている。	甲府市との交流を考えているデモイン市の生徒たちが、甲府市で安心して楽しく過ごすために、甲府市で施されているユニバーサルデザインなどについて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

◎パフォーマンス課題における具体的なゴール (※イタリックは誤り)

(bの姿)

Hello. I'm ○○. I'm a ◇◇ junior high school student. I will tell you about Kofu city. In Kofu, there are many good restaurants. However, when you go to the restaurants, I think you are worried about food. For example, food allergies. I will tell you how to check it. (スライドで画像などを提示) On the menu, you can check allergen information. Moreover, when we order, we use tablet. It is easy order because we can see the picture of food. So, don't worry. I sure that you can enjoy Kofu. Thank you.

(aの姿)

Hello. I'm ○○. I'm a ◇◇ junior high school student. I will tell you about Kofu city. In Kofu, there are many good restaurants. I recommend Hoto. It's very delicious. However, when you go to the restaurants, I think you are worried about food. For example, food allergies. I will tell you how to check it. (スライドで画像などを提示) On the menu, you can check allergen information. Moreover, when we order, we use tablet. It is easy to order because we can see the picture of food. I think they are really good universal design. So, don't worry. I'm sure that you can enjoy Kofu. Thank you.

場面

- デモイン市出身の ALT ジェイク先生から〇〇中生へ甲府市の紹介動画作成の依頼がきました。

状況

- 甲府市への交流を考えているデモイン市の生徒たちは楽しみにしている反面、不安に思っていることもある。
- デモイン市の生徒たちは甲府市の情報を欲しがっている。



目的

ジェイク先生からの動画作成依頼のビデオメッセージを見て、**甲府市への交流を考えているデモイン市の人たちが、甲府市で安心して楽しい時間を過ごすことができるように、**

行動

甲府市の紹介動画を作成しましょう。

8 本時の学習

(1) 日時 令和6年10月15日(月) 5校時

(3) 目標

マリベルさんからの質問に答え、外国の人たちがなぜ甲府で住みやすいのかが伝わるように、私たちの身近や生活の中にあるアイデアについて紹介をすることができる。

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ○指導に生かす評価
2分	○【Greeting】(3min) ・あいさつをする。	○【Greeting】 ・あいさつをする。	
	○【Introduction】(7min) ・山梨大学の留学生マリベルさんからのメッセージビデオを見て、JTE や ALT とやり取りをする。 (場面状況理解) ・JTE や ALT からの質問に答える。 【本時の場面状況設定】	○【Introduction】 ・動画を見た後、生徒を含めてやり取りを行い、マリベルさんに対してスピーチをするという本時の場面設定を行う。	・JTE と ALT とのやり取りに生徒を巻き込む。 ・T-S インタラクションでマリベルさんが求めていることについての理解を促す。(内容面)

6分	山梨大学にフィリピンから留学生として来ているマリベルさんからのビデオメッセージが届きました。「なぜ甲府市はこんなにも過ごしやすいのか」ということに興味をもちました。マリベルさんから、「生活を便利に過ごしやすくしているものは何?どんなものがあるのか教えて欲しい。」とたずねられました。 ・目標の確認	・T-S インタクションを通して、本時の活動における生徒の理解度を確認する。 ・メッセージビデオはクラスルームに入れておき、生徒がいつでも見ることができるようしておく。	
Today's Goal:マリベルさんからの質問に答え、外国の人たちがなぜ甲府で住みやすいのかが伝わるように、私たちの身近や生活の中にあるアイデアについて紹介をすることができる。			
4分	【Take memo ①】(4min) ・プリントに身近な生活の中にあるアイデア(ユニバーサルデザイン)をメモしていく。 ・その他に必要なだと思うことをメモしていく。	【Take memo ①】 ・生徒が作成するメモを観察し、必要に応じて本時の目標や目的場面状況の確認を行う。	・今の時点での、自分の考えをメモにする。 ・内容面の適切さについて考えを深める。 ・メモを作成時は、教科書やクラスルームの資料などを活用する。
10分	【Talk with partner①】(3min) ・メモを頼りにしながら友達にスピーチを発表する。(1回目) 【中間評価①】(7min) ・教師からの問いかけに対して、内容面を中心に、本時の目標に即しているかどうかを考える。(T-S, S-S) ・教科書本文(p74)から、今回のスピーチで活用できそうな表現やアイデアなど JTE や ALT とのやり取りを通して見つける。(T-S, S-S)	【Talk with partner①】 ・生徒の発表を聞き、机間指導をする。 ・生徒の情報などをその場で共有する。 【中間指導①】 ・優れた内容があれば全体で共有する。 ・生徒が取り上げた内容が本時の目標に即しているかを確認する。 ・ALT は生徒の発話内容にコメントをしていき、情報を深める。 (ALT が内容面の基準)	・メモが文にならないように留意する。 ○メモをもとに話す。 ・全くできない生徒がいるときは、What is the first sentence? などと問いかけ、Hello, Ms. ○○. I will tell you about ～.などを生徒から引き出す。 ・今回伝える相手は ALT ではないが、ALT はマリベルさんと同じフィリピン出身なので、マリベルさんの立場になって内容面の基準をつくっていく。

6 分 19 分	【Take memo ②】(3min) ・友達が作成した動画やメモを共有する。 ・さらに付け加えたいことがあれば、付け足していく。 【Talk with partner②】(3min) ・2人1組のペアでメモをもとに、マリベルさんの立場に立って発表し合う。 ・友達の発言内容やメモを参考に、アイディアや表現などを共有する。 【中間評価②】(6min) ・数名が全体の前で発表する。 ・クラスで共有された友達の発表を聞き、言語面、内容面において、自分の発表に生かす。 ・JTE や ALT からの問いかけに対して答える。 【Take memo ③】(3min) ・さらに付け加えたいキーワードがあれば、書き加える。(色を変えてメモする。)	・教科書本文から生徒が活用できそうな表現などについての発問を行う。 【Take memo ②】 ・机間指導を行い、生徒のメモの確認を行う。 ・生徒に問いかけながら、情報の整理をする。 【Talk with partner②】 ・机間指導を行う。 ・生徒の発言やメモに対して問いかけをして、全体共有する。 【中間指導②】 ・机間指導を行い、フィードバックを行う。 ・優れた生徒の発表をクラスで共有する。 ・フィードバックしたものを板書する。 ・ALT は発表に対して内容面をコメントする。 (ALT が内容面の基準) ・JTE は ALT に生徒の発言に対して問いかけをする。 【Take memo ③】 ・机間指導を行い、生徒のメモの確認を行う。	・教科書等の表現内容を活用してもよい。 ・友達のメモを見て、よいところを共有し、メモを深めることを伝える。 ・必要に応じて、全体で発話練習などを行い、言語面の定着の指導を行う。 ・内容面においては、紹介しているものに対する自分の気持ちや留学生へのアドバイスなどを加える。 ・教科書等の表現内容を活用してもよい。 ・生徒のアドバイスが本時の目標に即しているかどうかを常に確認する。 ・目標に立ち返り、マリベルさんが動画で聞いてきたことに対しての返答になっているかなどを確認する。
------------------------	--	---	--

	【Recording】(5min) ・最後の録画をする。 【Share】(5min) ・数名の生徒が、全体で自分のスピーチを発表する。	・生徒に問いかけながら、情報の整理をする。 【Recording】 ・机間指導をし、この後に全体に共有する生徒の動画を決める。 【Share】 ・代表者のスピーチをクラスで共有する。 ・ALT は、よいアドバイスだったかコメントをする。	○本時の目的・場面・状況に応じた内容になっているかを見取る。 ・3分間で何度も撮り直してもよいことを伝える。
3 分	○【Reflection】(3min) ・自分の動画とメモを見返し、振り返りシートにコメントを記入する。	○【Reflection】 ・JTE と ALT からフィードバックを行う。	○本時の目標に準拠した振り返りを行う。 ・態度面のみのコメントにならないよう声をかける。
	○【Greeting】 ・あいさつをする	○【Greeting】 ・あいさつをする	

(5) 評価

※本時は記録に残す評価は行わないが、以下に示す評価基準をもとに、生徒の状況を把握し、指導に生かす。

【中間指導】の時に行う発問例 ※スピーチで活用できそうな表現に注目させるための発問

教師はピクチャーカードを、生徒は本文とカードを見ながらやり取りを行う。

1. Meg and a staff are talking. What are they talking about? (They are talking about universal design products. They are talking about jar, bumps, braille etc...)
2. (ジャムをさして) What's this? (It's a jar.) What can he show Meg? (He **can show Meg how to use** (these) universal design products.)
3. (蓋のでこぼこと点字をさして) What's this? (It's bumps.) What's this? (It's braille.) Can we open it easily. Why? (Because **thanks to** the bumps.)
4. (点字をさして) What's this? (It's braille.) What is this for? (It's for blind people.)
5. About blind people, can they see? (No. or it is difficult to see.)
Thanks to braille, they can understand what the thing is.

「話すこと[発表]」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
山梨大学の留学生が興味をもって質問してきたことについて、どのようなことが外国の人たちにとって甲府での生活を住みやすいものになっているのかが理解できるように、私たちの身の回りで施されている工夫について自分の考えや気持ちを、その理由とともに紹介している。	山梨大学の留学生が興味をもって質問してきたことについて、どのようなことが外国の人たちにとって甲府での生活を住みやすいものになっているのかが理解できるように、私たちの身の回りで施されている工夫について紹介している。	山梨大学の留学生が興味をもって質問してきたことについてどのようなことが外国の人たちにとって甲府での生活を住みやすいものになっているのかが理解できるように、私たちの身の回りで施されている工夫について紹介していない。 →改善点について、ふり返しシートに記入したり、個別支援を行ったりする。また、次の時間以降に設定されている活動の中で、繰り返し指導をしていく。

本時の生徒の姿

aの生徒の姿

Hello Ms. Maribel. I'm □□. I'm a ○○ junior high school student. I will tell you about bus in Kofu. In the bus, we can hear voice guide in Japanese and English. Thanks to the voice guide, foreigners can understand where to stop the bus. I think this is very helpful for everyone. I think there are many universal design ideas in Kofu. So you can enjoy Kofu.

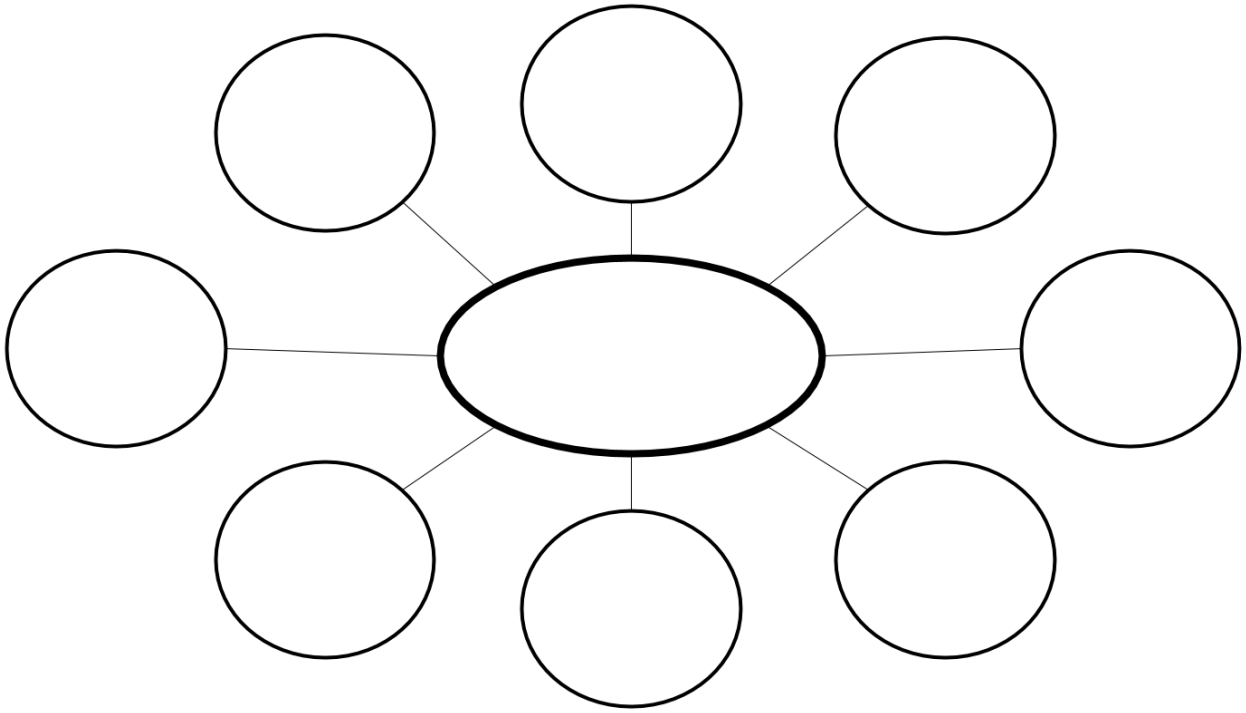
bの生徒の姿

Hello Ms. Maribel. I'm □□. I'm a ○○ junior high school student. I will tell you about bus in Kofu. In the bus, we can hear voice guide in Japanese and English. Thanks to the voice guide, foreigners can understand *where stop* the bus. It is very good. Thank you.

板書計画

Sunny Tuesday October 15th	Today's Goal : マリベルさんからの質問に答え、外国の人たちがなぜ甲府で住みやすいのかが伝わるように、私たちの身近や生活の中にあるアイデアについて紹介をすることができる。		
	内容面	言語面	単語
マリベルさんについての情報などを提示	I will tell you about ～～. Thanks to ～, you can ～～.		I can tell you how to use it. I can tell you where to find ～.

メモ用紙 ①



メモ用紙②

